



Vol.
80

<発行> 医療法人中山会 新札幌パウロ病院

<編集> 広報委員会

<発行日> 平成 28 年 10 月 12 日

〒004-0002 札幌市厚別区厚別東2条6丁目4-1

TEL(011)897-4111・FAX(011)897-4114

www.byo-in.com / メール paulo@byo-in.com

「患者さんの目線」で
優しい医療を

- <基本方針>
- ・患者さんを自分の肉親と思う精神で接します。
 - ・良質かつ適切なサービスの提供に努めます。
 - ・愛され信頼される病院を目指します。



老人病棟に春が来た

—理事長さんは泣き虫—

会長／中山修子



『明日のことまで思い煩うな。明日のことは、明日自ら思い煩わん。』

この聖句に支えられ、患者さんとの一日一日を大切に過ごしてきた中山会長が、平成8年10月、これまでの思いや感じてきた事を綴った一冊の本『老人病棟に春が来た』を出版しました。

このコーナーでは、その中からシリーズでエッセイをご紹介します。

※痴呆に一番効くお薬は？ —————「T野さんが歌った」

本を読むと、老年期に起きる[※]痴呆は、単なる老化現象ではなく、病的な現象であると書かれてある。痴呆によって起きる精神症状や異常行動がどういうわけで起き、どう対処していけばよいのか、医療に携わる私たちはそれを知ることが重要なのではないだろうか。

私は医者ではないから、専門的なことはわからないのだけれど、毎日四百人近い患者さんを見てるとそれがよく分かるし、人間の呆け方には色々な呆け方があって、おおむね、食べることに呆ける人、金銭面で呆ける人、痴情に呆ける人、排尿排泄を含めてまったくの赤ちゃんにかえってしまう人、被害妄想の強い人、攻撃型の人と、大きく分けられるのではないだろうか。

ここに登場するT野さん（七十六歳）は、童女のように可愛らしく、穏やかに過ごしている患者さんで、春には頭にタンポポを飾り、今日は水玉のリボンを頭の横ちょよに蝶々に結んでいた。

「ハハハハ」「ハハハハ」とほんとうによく笑い、汚れを知らない天使のような笑顔に、周りのみんながつかれて笑ってしまう。その屈託のない明るさは、呆けるならこんな風に可愛く呆けたいと思ってしまうほどだ。

看護師も介護職員も、職務上、全ての患者さんに平等に優しくあらねばならないというのが原則で、基本的精神ではあるけれど、「T野さん」「T野さん」といつも声をかけられて、みんなから愛されているのが傍目にもよく分かる。

水曜日のカラオケ教室に誘ったら、T野さんは「どこさ行くの？」と、私の手を握ってついて来た。

これは、今日に限ったことではなく、何回誘ってもすぐ忘れてしまって、水曜日のたびに、「どこ行くの？」と手を握ってくるのだ。握る手には、不安とか不信とか、疑いなど少しもない。私に全幅の信頼を寄せてくれていて笑顔が切ないほど愛しくて、嬉しいと思う。

毎水曜日、そうやってついて来て、「ハハハ」「ハハハ」と笑いながら、仲間が歌うカラオケを聞いていた。けれど、「一緒に歌いましょう!？」と何度誘っても、「歌えないもん」と歌おうとはしなかった。

それが今日、T野さんにマイクを渡すと、どうしたということだろう。両手でマイクを握りしめ、画面の字幕をしっかりと見つけて、古賀政男作曲の『影を慕いて』を歌い始めたではないか。

女らしい、澄んだ綺麗な声だった。「T野さんが歌った!!」と、仲間の患者さんたちと手の平がイタイほど大きな拍手で声援した。

T野さんの心の中に脈々と波打っている熱いものが伝わってくるようで、私の体にも稲妻のような「感動」の電光石火が突きぬけて、両の目はもう涙でボロボロだった。

※痴呆老人の患者さんにとって、療養生活を送る上で一番大切なものは、「安心感」。これに尽きるのではないかと私は思う。

お年寄り（患者さん）のプライドを傷つけないように心を配ることによって、スタッフとの信頼関係が結ばれ、自分は守られている、大切にされているのだという、この「安心感」が痴呆の状態を軽減させるために最もよく効く薬だと思うのだ。

そこには、理屈もなにも要らない。介護者である私たちは、いかなる場面に直面しても、優しい人間であらなければならない。痴呆には、「穏やかである」ということが、実によく効く特効薬であることには間違いがないようである。

※「痴呆」……本文は、出版当時の文章であり、現在は「認知症」に変わっています。

グループホーム 夏桜 下野幌町内会の夏祭りに参加しました。

8月6日(土)、グループホーム夏桜の入所者さんが今年も地域のボランティアの方々の協力を得て下野幌町内会の夏祭りに参加しました。このお祭りへの参加は施設恒例となっており、今回で7回目となります。



例年通り夕刻にボランティアさんが施設までお迎えに来てくれ、散歩がてら徒歩で会場まで行きました。会場である公園内には盆踊り用のやぐらも設置され、太鼓の音も響いており、子供達が既に踊っていました。屋台からは焼き鳥に焼きそば、ビールなど美味しそうな匂いがしてきます。利用者さんも年1回のこのお祭りを楽しみにしており、ここぞとばかりの笑顔の乾杯でビールも進んでしまいます。約1時間、食べて、飲んで、沢山お話をし、ちょっとホロ酔いで施設に戻りました。

地域のボランティアの方々のおかげで今年も楽しく夏祭りに参加することができました。本当にいつもありがとうございます。



入院・医療のご相談は、地域医療連携室まで
お気軽にお問い合わせ下さい。

011-897-4111
(代表)

新札幌パウロ病院

花火大会

2016

8月10日、恒例の新札幌パウロ病院花火大会が中庭にて開催されました。今年は大いに恵まれ、患者さん、ご家族の皆さんにご参加いただき花火大会はスタート。

参加いただいた子供たちには、パラシュートや、ぬいぐるみが飛び出す“仕掛け花火”、その後、参加者と職員で“手持ち花火”を楽しみました。

日が暮れた頃、単発・連発を並べた大型花火を次から次へと打ち上げ、盛大な花火大会を演出。会場からは多くの拍手と喝さいが湧いていました。

来年も心に残る花火を空高く打ち上げたいと思います。





敬老の日 大道芸ショー

9月15日、敬老の日のイベントが行われ、お祭り大好き江戸寄席芸人“宝玉斎こん太（ほうぎょくさい こんた）”と弟子の“ぼん太”がやって来ました。

傘の上で毬がくるくる回る太神楽、不思議な動きの曲独楽など、お馴染みの寄席の色物芸を披露。

会場は大いに賑わいました。



今後の行事予定

11月 作品展



12月 クリスマス会



ちよとつ いいはな話

デイサービスセンター ぱうろ温泉
施設長 渡邊 聡

現在、デイサービスセンターぱうろ温泉には2名のボランティアさんが来ています。お二人とも囲碁や将棋を通じて利用者と交流を持ちたいと週1回の活動を継続されています。お一人は現役を退き、空いた時間をご自身の特技を活かして有意義な時間を利用者と共有できたらとの意向で始めました。もうお一方は、お仕事をされている傍ら福祉の世界を肌で感じたい、病院の外来にも度々お世話になっているのでお手伝いしたいとの理由で始めました。

ボランティアという言葉調べてみたら、「自己の自発的・主体的な意志によって社会問題や解決が必要とされている活動を理解し共感し、勤労とは別に労力、技術、知識を提供すること」とありました。

受け入れる側として深くボランティアの方のことを考えることはあまりありませんでした。利用者の話し相手になってくれる助かる存在、少し言葉が悪いですがそのくらいに感じていました。

最近、東北や熊本の大震災、諸外国では軽微な違反、犯罪を犯した者へ義務化している国もあるなど、ボランティアについて考えさせられることが多くなりました。自分に置き換えたとき、自身の時間をボランティア活動に奉仕することが自発的に行えるだろうか？見も知らぬ施設に一人来て活動を行うことができるのか。

現在、来ているお二人に尊敬の念に堪えません。

これから、ぱうろ温泉に来ているお二人から学びたいと思っています。

パウロにっこりクラブ 公開講座のご案内

新札幌パウロ病院は、昭和 57 年開院以来、地域の皆様に支えられて参りました。平成 19 年より地域の皆様に『何かお役にたてる事が出来れば。』との思いから、皆様との“ふれあい”を大切にする活動を進めるため、パウロにっこりクラブを設置しました。今年も多くの地域の皆様との交流をはかります。

講座内容

「健康食品を正しく理解しよう！」

講師：薬剤科 薬剤師／長多 好恵

テレビ、新聞、雑誌等で「健康食品」、「サプリメント」、「機能性食品」という言葉をよく耳にしませんか？最近、健康への関心が高まり、さまざまな健康食品が市場にあふれています。「機能性食品」や「健康食品」といった言葉には、どのような意味や違いがあるのでしょうか？そこで今回は、健康食品について正しく理解し、適切に利用するための知識を身に着けましょう。



と き：平成 28 年 10 月 26 日 (水)

14:00～15:00

ところ：新札幌パウロ病院 1 階 礼拝堂

参加費無料

お気軽にご来場ください。

無料血圧測定実施

初めての方には血圧手帳を進呈。



ご自宅で気軽にできる健康体操もあります

お問い合わせ：新札幌パウロ病院 事務部 本 (もと) / ☎ 011-897-4111

『高齢者向けアレンジレシピ』

家族と一緒に楽しく食卓を囲みたい。でも、同じおかずでは食べにくい…。そんな悩みを、ちょっとした工夫で食べやすくする調理法と献立をご紹介します。

さつま芋とレモン汁で、アレンジレシピ

さつま芋のレモン煮



基本の料理

ひとりあたり
エネルギー
120 kcal
たんぱく質
0.5 g



高齢者向け

【材 料（2人分）】

- さつま芋 …………… 100g
- 砂糖 …………… 大さじ3
- レモン汁 …………… 大さじ1
- 水 …………… 200cc

【作り方】

- ① …… さつま芋はよく洗い、乱切りにする。
- ② …… 鍋にさつま芋と調味料を入れ煮る。

※ 煮る前にさつま芋を電子レンジで加熱しておく、時間短縮になります。

※ レモン汁はお好みで調節して下さい。



皮は口に残りやすいため、剥くことで食べやすくなります。



柔らかく煮ることで、噛みやすくなります。



柔らかく煮ても食べにくい場合は、芋を潰すと食べやすくなります。硬すぎると飲み込みづらいので、煮汁を入れて調節すると食べやすさが増します。

無料送迎バスのご案内



▼新札幌パウロ病院行き ◎13:15 発の便は、土・日・祝日は運休

地下鉄 新さっぽろ駅 9番出口発	8:50	新札幌 パウロ病院着	9:00
	10:20		10:30
	◎13:15		13:25

▼地下鉄新さっぽろ駅行き もみじ台経由、新札幌の交番前下車

新札幌 パウロ病院発 (病院裏駐車場)	11:30	地下鉄 新さっぽろ駅着	11:50
	15:00		15:20
	19:30		19:50



交通事情などにより到着時間が変動する場合がございます。ご利用の際は、あらかじめご了承ください。